

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 08010060

政策目標	2	めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	8	子育て・子育ての充実	事業優先度	B		
単位施策	2	「子育て」支援の強化	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)		
事業名	保育所給食調理業務委託事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	8 保育所		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	委託契約数		関係例規・法令名	#N/A		
事業目標	1契約		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	保育所給食調理業務の委託	調理業務委託	調理業務委託	調理業務委託	調理業務委託	調理業務委託
	事業費(千円)	112,170	21,690	22,320	22,720	22,720
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	22,680	4,500	4,530	4,550	4,550
一般財源	89,490	17,190	17,790	18,170	18,170	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	101,805	19,832	20,469	20,319	20,395
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	23,562	6,961	6,033	2,283	4,160	
一般財源	78,242	12,871	14,435	18,036	16,630	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	児童運営費保護者負担金 保育所職員等給食費負担金	【評価・実績】	調理業務委託の実施	調理業務委託の実施	調理業務委託の実施	調理業務委託の実施
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1契約	1契約	1契約	1契約
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	91%	92%	89%	92%
	全体達成率	18%	36%	54%	73%	
	備考欄					

事業名	保育所給食調理業務委託事業	評価者 管理職 職氏名	保育所長	大水麻理
		評価者 作成者 職氏名	児童保育係	藤澤健人

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	保育所児童及び職員	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	給食提供に係る業務委託件数
【抱える課題やニーズは】	給食提供に係る調理業務の効率化及び職員の労務管理	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	安心安全な給食提供体制の確保	① 委託契約件数	目標年度 平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	業務を民間委託することにより専門知識、ノウハウを活かした安定した給食提供実施と人的配置の確保		目標値 1 契約
			実績値 1 契約
			達成度 100.0 %
		②	目標年度 平成29年度
			目標値 〇〇
			実績値 〇〇
			達成度 #DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	給食調理業務の民間委託	昼食、おやつ、行事食、離乳食、アレルギー食、食育及び施設の一部清掃等の業務委託	
	給食業務委託職員と保育所との定期的会議	町の管理栄養士を含む保育所職員と委託業者職員(栄養士、調理員)との給食会議を開催し、給食全般の評価、検討を実施(毎月1回)	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	保育所における給食提供は必須であり、成長期の乳幼児期の食の確保、栄養管理等細心の配慮が必要となる。専門業者に委託することで安心、安全な管理運営が実現できる。
必要/概ね必要/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	専門知識に基づいた給食内容や食物アレルギーなど個々に合わせた臨機応変な対応が実施され、かつ衛生管理等も徹底されている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	業者の専任栄養士が常勤しており、日ごろの入所児の状況に即した対応がされている。必要に応じて保育士や保護者との協議も随時実施しており効率的な業務が実施されている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input checked="" type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	児童の給食に係る経費は保育料の一部に含まれている。職員については実費負担による現金納付で公平性が保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
重度のアレルギー(アナフィラキシー症状)を持つ児童対応では、委託業者との連携により事故なく給食提供を実施できた。労務管理を含めて食の安全性、効率性が維持できた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
専門業者の管理運営により安心安全な給食提供を継続していくため、今後も引き続き外部委託による実施をおこなっていく。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止